



2021年(令和3年)
2月4日
木曜日 夕刊

環境 5
NEWS+α 7
円・株 6
社会・総合 8
社会 9
TV・ラジオ 6.10

朝日新聞大阪本社
〒530-8211 大阪市北区中之島 2-3-18
電話 06-6231-0131 www.asahi.com

定年はない 未来がある

90歳「最高齢の総務部員」ギネス世界記録

90歳の大阪の女性がギネス世界記録に認定された。「世界最高齢の総務部員」として、64年間、ネジの専門商社で働いてきた。「私に定年はない。私には未来がある」
(河合眞美江)



①自席でパソコンに向かう玉置泰子さん
②ギネス認定証を公式認定員(左)から贈られ、おちゃめなピースサイン=2020年12月28日、いずれも大阪市西区

「ただただ、びっくり。当たり前のことを積み重ねてきただけです」。昨年、大阪市西区のサンコーインダストリーであったギネス記録の認定式。壇上の玉置泰子さん(90)がサブライズに驚きながら、明るい声を響かせた。

パソコンを駆使

4300人余が働く会社の総務部で、パソコンを使って経理や庶務を担う。「言葉をよく知る大先輩」と信頼は厚く、得意先への礼状や優秀社員の表彰状の文面も考える。

勤務は午前9時〜午後5時半。新型コロナウイルスで今は午後4時まで短縮され、月2回の「コロナ休暇」もある。だが、ほんの2、3年前までは朝7時に出社し、終業後もみんなの帰りを見届けた。

目標をクリアするのが楽しくてたまらない。だから、仕事をやめようと思っただけではない。60歳の定年を迎えたときもそうだった。「自分の席で死にたいと言われてますから」と上司の佐藤宏彦部長(47)。定年後は、本社から出向する形で1年ごとに契約更新を続ける。会社には82歳の女性社員もいる。

大阪府豊中市で三つ下の妹と暮らす。朝5時半に起きてヨガを30分、般若心経を3回唱える。「BMWで1時間かけて通勤しています。バス(Bus)と地下鉄(Metro)に乗り、駅から歩く(Walk)。おちゃめに舌を出す。入社は1956年。社員20人だった会社の「生きざ

「会社は私のパートナー」社員に力尽くす

まど合わせて生きてきた。70年の大阪万博の好景気にのった後、石油ショックで売り上げが減ったが挽回。90年代のバブル崩壊、2008年のリーマン・ショックも「ピンチのときこそ伸びるもんや」と一つになって乗り越えた」と振り返る。20年以上前にパソコンが入ったときは、ワープロも表計算ソフトも独学でものにした。

「人の役に立つために働く」という信条は10代のころから。15歳で父を亡くし、きょうだい3人を進学させる責任を感じた。商業高校を出て、家族のためにずっと仕事をしてきた。

今は、社員一人ひとりのために力を尽くしたい。40歳で課長に昇進したときは、つまづきもあった。理想が高く、部下に細かく注文をつけ、反発された。ある日、残業を頼んでも誰も残らない。みんなの湯飲み茶わんを洗いながら考えた。「偉そうに上から言ってもダメ。勉強の場を与え、成長できるようにしよう」

教育信条は「守・破・離」になった。見て覚える「守り」。自分流にやってみて「破り」、納得できたら先輩から「離れる」。3本柱で後輩を育てた。

人生の師匠——総務部員の上茂裕美さん(36)は15年間ともに働き、そう慕う。「50歳以上、年が離れていても線引きしない。野球大会の応援、送別会も皆勤。社員の名前をみんな覚えてくれている」

働くシニア 右肩上がり

シニアの働き手は増えていく。厚生労働省によると、従業員31人以上の企業の常用労働者は約3234万人(昨年6月1日現在)。このうち60歳以上は約409万人で、前年より約23万人増えた。10年前と比べれば約167万人増と、右肩上がりだ。

企業の受け入れ態勢をみると、66歳以上が働ける制

員の上茂裕美さん(36)は15年間ともに働き、そう慕う。「50歳以上、年が離れていても線引きしない。野球大会の応援、送別会も皆勤。社員の名前をみんな覚えてくれている」

新入社員は研修で、玉置さんの薫陶を受ける。会社の歴史の「語り部」として、「贈る言葉」を投げかける。昨春は——。

「らせん階段を上るようになって目的地にたどり着きたい。一段上ることに見える景色が変わってくる。次へ期待や希望が生まれる。知らない世界への興味が生まれる。目的地に着いた時、きつと信じられないほど成長した自分に会える」

毎年違う言葉を贈ろうと、本や新聞でネタを仕入れ、気に入った言葉を手帳に書きとめる。全集をそろえ、読み返す。開高健や宮尾登美子のファンだ。漢字検定の準1級に挑むかと思えば、カードやマジシャンのゲームも。「勝負事が好き」と目を輝かせる。

「結婚はしなかったけれど、会社というすばらしいパートナーに出会えた。宇宙に私はただ一人。どこまで行けるか、がんばってみます」

度があるのは33・4%。前年より2・6%増えた。中小企業(従業員31〜300人)では34・0%、大企業(301人以上)は28・2%で、中小企業のほうが進んでいる。

高年齢者雇用安定法が改正され、4月からは70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務となる。現役のシニアはますます増える。